

ABC・オブ・デス (2012)

THE ABCS OF DEATH

メディア 映画
 ジャンル ホラー
 製作国 アメリカ
 色彩 Color
 時間 129分
 初公開日 2013/07/20
 公開情報 キングレコード
 映倫 R18+

【キャッチコピー】

「死」のオリンピック、日本開幕。

アルファベット一文字から描いた
 全26編、5分1本勝負のホラー・バトル！

【解説】

世界中から集められた新進気鋭の映像作家26組が、アルファベット全26文字を頭文字とするそれぞれのキーワードを元に、様々な死を巡る短編作品を競作する話題のホラー・アンソロジー・プロジェクトの記念すべき第1弾作品。死にまつわる26編のエピソードが、多彩な切り口と手法で、エログロ残酷描写満載に描かれていく。監督には「フロンティア」のザヴィエ・ジャン、「TIME CRIMES タイム・クライムス」のナチョ・ビガロンド、「キャビン・フィーバー2」のタイ・ウェスト、「ホーボー・ウィズ・ショットガン」のジェイソン・アイズナー、「キル・リスト」のベン・ウィートリーらに加え、日本からも「片腕マシンガール」の井口昇、「地獄甲子園」の山口雄大、「東京残酷警察」の西村喜廣の3人が参加。

【クレジット】

監督	ナチョ・ビガロンド	Nacho Vigalondo	『A is for Apocalypse／アポカリプス（黙示）』
	アドリアン・ガルシア・ボグリアーノ	Adrián García Bogliano	『B is for Bigfoot／ビッグフット』
	エルネスト・ディアス＝エスピノーサ	Ernesto Díaz Espinoza	『C is for Cycle／サイクル』
	マルセル・サーミエント	Marcel Sarmiento	『D is for Dogfight／ドッグファイト』
	アンジェラ・ベティス	Angela Bettis	『E is for Exterminate／駆除』
	井口昇		『F is for Fart／おなら』
	アンドリュー・トラウキ	Andrew Traucki	『G is for Gravity／重力』
	トーマス・カッペリン・マーリング	Thomas Cappelen Malling	『H is for Hydro-Electric Diffusion／水電拡散』
	ホルヘ・ミッチェル・グラウ	Jorge Michel Grau	『I is for ingrown／内攻』
	山口雄大		『J is for Jidai-geki／時代劇』
	アナス・モルゲンタール	Anders Morgenthaler	『K is for Klutz／不器用』

ティモ・ジャイアント	Timo Tjahjanto	『L is for Libido／性欲』
タイ・ウェスト	Ti West	『M is for Miscarriage／流産』
バンジョン・ピサヤタ ナクーン	Banjong Pisanthanakun	『N is for Nuptials／結婚』
ブルーノ・フォルツァー ニ	Bruno Forzani	『O is for Orgazm／オーガズム（絶頂）』
エレヌ・カッテ	Helene Cattet	『O is for Orgazm／オーガズム（絶頂）』
サイモン・ラムリー	Simon Rumley	『P is for Pressure／重圧』
アダム・ウィンガード	Adam Wingard	『Q is for Quack／アヒル』
スルジャン・スパソイエ ヴィッチ	Srdjan Spasojevic	『R is for Removed／切除』
ジェイク・ウエスト	Jake West	『S is for Speed／スピード』
リー・ハードキャッス ル	Lee Hardcastle	『T is for Toilet／トイレ』
ベン・ウィートリー	Ben Wheatley	『U is for Uearthed／発掘』
カーレ・アンドリュー ス	Kaare Andrews	『V is for Vagitus／産声』
ジョン・シュネップ	Jon Schnepf	『W is for WTF／カオス』
ザヴィエ・ジャン	Xavier Gens	『X is for XXL／ダブルエックスエル』
ジェイソン・アイズナー 西村喜廣	Jason Eisener	『Y is for Youngbuck／ティーンエイジャー』
		『Z is for Zetsumetsu／絶滅』
製作	アント・ティンプソン	Ant Timpson
	ティム・リーグ	Tim League
音楽 出演	福田裕彦	『F is for Fart／おなら』
	中村有沙	『F is for Fart／おなら』
	村田唯	『F is for Fart／おなら』
	仁科貴	『J is for Jidai-geki／時代劇』
	佐々木大介	『J is for Jidai-geki／時代劇』